

# 明治期日欧言語交流史の一研究

——『英語節用集』所収二字漢字表記語の  
永峰秀樹訓訳『華英字典』における収載状況をめぐって——

坂 本 浩 一

## はじめに

明治初期に翻訳の場を中心に大量に生産された漢字表記語は、淘汰され姿を消したものも多く見られる一方、現代に生き残り日本語語彙の枢要な部分を支えるものもまた多い。明治期対訳辞書資料群はそうした語彙創成の現場に立ち会ったもので、日本語語彙史を記述する上でも当代の貴重な言語情報を伝えてくれるものである。

本稿は稿者がこれまで調査を重ねてきた、いわゆる第二次英学書ブーム<sup>(注1)</sup>のさなかに生み出された『英語節用集』<sup>(注2)</sup>の語彙を調査の中核に据え、さらなる追究を心がけたものである。

今回は、九州大学に蔵せられる対訳辞書資料『華英字典』を比較考察のための資料に取りあげ、『英語節用集』に収載された二字漢字表記語についての検討を積み重ねていきたい。

二字漢字表記語を調査対象とする理由は、所謂漢語語彙の中核を成すものであり、一に量的に最大であること、一に三字、四字以上の漢語語彙を二次的に造語し語彙形成の推進原動力として果たす機能もまた極めて大きいことにある。就中、幕末明治期の当代はまさに所謂新漢語の造出が盛んに為された日本語語彙史上の画期的な一時期としてあり、その表舞台となった翻訳、対訳世界の日本語語彙資料の調査分析にあたっては、まずもって取り組まねばならない対象であることによるものである。

## 1 九州大学蔵永峰秀樹訓訳『華英字典』

ここで比較対象に取りあげる『華英字典』とは、明治17年に佐野正道によって刊行される『英語節用集』に先行して、永峰秀樹が明治14年に訓訳刊行した和刻本であり、今回稿者が調査に使用したものはその九州大学蔵本である。なお、本辞書は英語が見出しであり、実際には“英華”が大本なのであるが、該書の題名は『華英字典』となっている。本稿においては該書をそのまま単に『華英字典』とも称することとする<sup>(注3)</sup>。

豊田実の紹介記述にあるように、掲載されている中国語文の序から、「英国墨黒土先生三十五年前所著華英辞典一冊」すなわち Medhhurst の『English and Chinese Dictionary』他に拠って成った Kwong Ki-chu (【廣+おおごと】其照) の『An English and Chinese Dictionary Compiled from Different Authors, and Enlarged by the addition of the Last Four Parts』を縮刷印字した点石齋の書を用いて永峰秀樹が訓訳を付したという事情が分かる<sup>(注4)</sup>。

また、その訓訳者の序文には次のようにあり、刊行事業に臨む辞書編纂者の趣意とともに訳語・訓訳に関する具体的な処理の方策が書き記されており、当期の翻訳作業の内実を窺う上で、大いに注目できる。

近來舶載スル所ノ華英字典一冊英語漢訳相對比シ簡ニシテ要ヲ得タリ斯学ニ従事スル者一日欠クヘカラサルナリ惟恨ムラクハ其ノ訳字支那ノ俚語ニ係ルノミナラス印刷漫【さんずい+患】少年ノ検索ニ苦ムモノ不尠余今自ラ揆ラス丹鉛ヲトリ仮名訳ヲ施シ鮮明ノ袖珍冊子トナシ世ニ播ント欲ス其ノ漢訳字義相類スルモノハ数語ヲ一訳ニ約シテ其ノ数義ヲ含蓄スルノ原語ニシテ其要義ヲ漢訳ニ欠クモノ及ヒ訳語穩当ナラスト認ムルモノ或ハ意義同シキモ我日用語ヲ施ストキハ更ニ明亮ヲ致スモノハ訳者ノ意ヲ以テ○ヲ加ヘ其下ニ付記ス且漢語ノ意味了解シ難キモノハ支那人某ニ就キ質問シテ其要ヲ掲ク凡訓訳ヲ下スニハ専ラ原語ニ基キ再三吟味シ厥後漢語ニ照シテ之ヲ訳ス彼此抵【てへん+吾】アラン事ヲ恐レテナリ読者請フ之ヲ諒セヨ(傍線等稿者。以下同様。)

先ず「英語漢訳相對比シ簡ニシテ要ヲ得タリ」と当期の英華・華英の対訳辞典類が英語学に志を抱く日本人に大いに役立ったことを述べるが、「其ノ訳字支那ノ俚語ニ係ル」と中国語としてこなれた「俚語」は日本人の採るべき訳語としては必ずしも妥当しないことを説く。また「少年ノ検索ニ苦ム

ノ不勘」と初学者の困難を挙げ、「仮名訳ヲ施シ」といった方策が切に求められるものであったこと、このことが当代第二次英学書ブーム期においても、例えば明治12年に中村正直が訓訳を補った『英華和訳字典』が刊行された事例などの背景を如実に示すものとして理解できる。

次いで、個々の項目記述に当たって永峰が採った細かな方策が示される。「其ノ漢訳字義相類スルモノハ数語ヲ一訳ニ約シ」というのは、句レベルから語による訳出へという当代の訳語創出の潮流を示すものである<sup>(注5)</sup>。さらに「数義ヲ含蓄スルノ原語ニシテ其要義ヲ漢訳ニ欠クモノ及ヒ訳語穩当ナラスト認ムルモノ」と多義的な原語を辞書において項記述する際には、中国訳における欠落不適をチェックする。そして訓訳者が「意義同シキモ我日用語ヲ施ストキハ更ニ明亮ヲ致スモノハ訳者ノ意ヲ以テ○ヲ加ヘ其下ニ付記ス」とのように、機械的に「仮名訳ヲ施シ」で行くだけというようなことではなく、訓訳者の言語意識に基づいて日本語としての「日用語」レベルを吟味し、独自の訳語・訓訳記述をさらに「訳者ノ意ヲ以テ○ヲ加ヘ其下ニ付記ス」というように本辞書の項記述においては訳語間の差異化までが図られているというのである。今次調査ではその域の探究にまで十分に及んでいないが、今後該資料を当代の貴重な言語資料として活用して行く上で、大いに着目すべき点と言える。

なお、坂本（2008）において行った『写真石版附音挿図英和字彙』との照合調査結果とも関連する一連の調査であるので、本稿においても同様に第二次英学書ブーム期の補助資料として『漢英対照いろは辞典』と『漢語英訳辞典』の新たに追加した調査データとも合わせて報告し検討することとしたい。『漢英対照いろは辞典』は明治21年に高橋五郎の編によって刊行されており、また『漢語英訳辞典』は J.H. ガビンスが編纂し明治22年から同25年にかけて全3巻の体裁で刊行されている<sup>(注6)</sup>。

## 2 調査のあらまし

『英語節用集』中に収載されている全914項目の各訳語<sup>(注7)</sup>の中から二字漢字表記語477を抽出し、各々において対を成している英語（句）を『華英字典』の項目見出し及び項目中の熟語用例見出しにおいて検索し、当該の英語見出し項目記述中での訳語及び片仮名表示された訓訳語を含めた一致状況を調査

した。

### 3 全体的な調査データの報告

まず全体のありさまを、表1として示す。

表中『華英字典』については、英語見出しが存し、なおかつ訳語中に当該漢字表記語が存する場合を〔○〕型とした。また英語見出しが存するが訳語中に当該漢字表記語が存しない場合は〔△〕型、英語見出し自体が存在しなかった場合を〔－〕型とした。『漢英対照いろは辞典』及び『漢語英訳辞典』については、当該漢字表記語が見出し語として掲出されたものを〔○〕型、掲出されないものを〔－〕型としている<sup>(注8)</sup>。

『漢英対照いろは辞典』、『漢語英訳辞典』の〔○〕型合計が各々78.0%、75.3%という収載率を示すのに対して、『華英字典』における〔○〕型の合計数値は477語中69語の14.5%と低い。『華英字典』の刊行は明治14年と第二次英学書ブームの当初期にあたり、前二資料は辞書の分量自体が大きい点<sup>(注9)</sup>も無論考慮しないといけませんが、明治20年代前半から半ばにかけての刊行で10年ほど年代が推移している。永峰秀樹が訓訳した『華英字典』はそもそも中国で1875年つまり明治8年に成ったものであり<sup>(注10)</sup>、それはちょうど第一次英学書ブーム期にあたってもいる。これらの点はどう考えると良いのだろうか。

ここで、さらに坂本(2008)において同様の調査を行った『写真石版附音挿図英和字彙』のデータを補助資料として取りあげてみたい。なお、『写真石版附音挿図英和字彙』の型記号については、永峰秀樹訓訳『華英字典』の場合と同様に、訳語中に当該漢字表記語が存する場合が〔○〕型、英語見出しが存するが訳語中に当該漢字表記語が存しない場合は〔△〕型、英語見出し自体が存在しなかった場合が〔－〕型となっている。

『写真石版附音挿図英和字彙』自体は第二次英学書ブーム期の明治18年に刊行されたものであるが、中身は第一次英学書ブーム期にあたる明治6年に第I版が刊行された『附音挿図英和字彙』の縮刷本であった。この資料においては、表2のように〔○〕型の合計数値が477語中159語で33.3%となっている。

これらを合わせ考えまとめてみると、第二次英学書ブーム期当初期の『英

表 1

		『英語節用集』所収部別内訳								合計
		宗哲	學術	宗応	人官	政法	政応	堂廻	年歴	
『英語節用集』	各所収部所属全項目数	135	61	284	160	123	93	40	18	914
	上記各項目数の全体内比率	14.8%	6.7%	31.1%	17.5%	13.5%	10.2%	4.4%	2.0%	100.0%
	各所収部内の 二字漢字表記語数	3	8	250	65	55	72	14	10	477
	上記二字漢字表記語の 当該所収部内における比率	2.2%	13.1%	88.0%	40.6%	44.7%	77.4%	35.0%	55.6%	52.2%
『華英字典』	対応する〔○型〕 項目数	1	5	35	13	5	6	2	2	69
	対応する〔○型〕の 二字漢字表記語内比率	33.3%	62.5%	14.0%	20.0%	9.1%	8.3%	14.3%	20.0%	14.5%
	対応する〔△型〕 項目数	0	2	151	37	21	40	9	4	264
	対応する〔△型〕の 二字漢字表記語内比率	0.0%	25.0%	60.4%	56.9%	38.2%	55.6%	64.3%	40.0%	55.3%
	対応する〔－型〕 項目数	2	1	64	15	29	26	3	4	144
	対応する〔－型〕の 二字漢字表記語内比率	66.7%	12.5%	25.6%	23.1%	52.7%	36.1%	21.4%	40.0%	30.2%
	対応する二字漢字 表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477
『漢英対照いろは辞典』	対応する立項〔○型〕 項目数	2	6	194	52	45	54	10	9	372
	対応する立項〔○型〕の 二字漢字表記語内比率	66.7%	75.0%	77.6%	80.0%	81.8%	75.0%	71.4%	90.0%	78.0%
	対応する不立項 〔－型〕項目数	1	2	56	13	10	18	4	1	105
	対応する不立項〔－型〕の 二字漢字表記語内比率	33.3%	25.0%	22.4%	20.0%	18.2%	25.0%	28.6%	10.0%	22.0%
	対応する二字漢字 表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477
『漢語英訳辞典』	対応する立項 〔○型〕項目数	2	6	193	46	41	51	10	10	359
	対応する立項〔○型〕の 二字漢字表記語内比率	66.7%	75.0%	77.2%	70.8%	74.5%	70.8%	71.4%	100.0%	75.3%
	対応する不立項 〔－型〕項目数	1	2	57	19	14	21	4	0	118
	対応する不立項〔－型〕の 二字漢字表記語内比率	33.3%	25.0%	22.8%	29.2%	25.5%	29.2%	28.6%	0.0%	24.7%
	対応する二字漢字 表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477

表 2

		『英語節用集』所収部								計
		宗哲	學術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	
『英語節用集』	各所収部所属全項目数	135	61	284	160	123	93	40	18	914
	上記各項目数の全体内比率	14.8%	6.7%	31.1%	17.5%	13.5%	10.2%	4.4%	2.0%	100.0%
	各所収部内の 二字漢字表記語数	3	8	250	65	55	72	14	10	477
	上記二字漢字表記語の 当該所収部内における比率	2.2%	13.1%	88.0%	40.6%	44.7%	77.4%	35.0%	55.6%	52.2%
『写真石版附音挿図英和字彙』	対応する〔○型〕 項目数	0	6	84	25	18	17	6	3	159
	対応する〔○型〕の 二字漢字表記語内比率	0.0%	75.0%	33.6%	38.5%	32.7%	23.6%	42.9%	30.0%	33.3%
	対応する〔△型〕 項目数	1	2	134	29	20	46	7	6	245
	対応する〔△型〕の 二字漢字表記語内比率	33.3%	25.0%	53.6%	44.6%	36.4%	63.9%	50.0%	60.0%	51.4%
	対応する〔一型〕 項目数	2	0	32	11	17	9	1	1	73
	対応する〔一型〕の 二字漢字表記語内比率	66.7%	0.0%	12.8%	16.9%	30.9%	12.5%	7.1%	10.0%	15.3%
	対応する二字漢字 表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477

語節用集』の訳語は、同年代に刊行されながら内容的には第一次英学書ブーム期の資料に原基盤をもつ『写真石版附音挿図英和字彙』と距離を置くものであり、中国辞書に淵源を持つ永峰訓訳『華英字典』はさらに遠いものであった。そして、さらに明治20年代に対訳世界の一応の集成を各々目指した『漢英対照いろは辞典』、『漢語英訳辞典』において高率で収載されるに至った。つまり、ここで挙げてみた対訳辞書群においてだけ見ても、①中国系永峰訓訳『華英字典』、②『附音挿図英和字彙』系、③『哲学字彙』系『英語節用集』、④集成期の『漢英対照いろは辞典』・『漢語英訳辞典』の四グループ間でごく大らかに捉えると、①≒(やや<)②<(大きな懸隔)<③≒④ といった関係が見えてくる。

もちろん第二次英学書ブーム期の資料群はこれにとどまらず、また別に『和英語林集成』や『英和口語辞典』といった有力辞書も存在するのであって、これらをあわせた対訳辞書資料の訳語研究は例えば訳語データベースの

構築などを通して、より精緻なものへと推し進めて行かねばならない<sup>(注11)</sup>。

見逃せないのは、これらの対訳辞書群が第二次英学書ブーム期には同時に混在的に需要され供給されていたという実態である。それぞれの辞書系統グループにおいて構築される訳語語彙体系があるならば、それらいくつもの語彙体系動詞が共時的にせめぎ合い淘汰収斂を進めていった過程にこそ注目すべきであって、結果として現代に生存した語彙リストを作るというだけでは、日本語語彙の歴史的記述を目指す上では不足がある。

今後は、これらの入り混じる時代状況を時系列上も整理しながら、各個の訳語語彙がどのように成長し消えていったかを克明に記述して行くことが当代の語彙研究において肝心であると考えるのである。

## 4 各収載型別に見た分析検討

以下、『華英字典』、『漢英対照いろは辞典』、『漢語英訳辞典』における収載状況を総合してパターン別に分類し、『英語節用集』の所収部別に整理した語彙リストを挙げながら、検討して行くことにする。

### 4-1 『華英字典』において〔○〕型の項目

『華英字典』において〔○〕型となる項目は、全二字漢字表記語477語中70語、14.7%である。その漢字表記語を、後行資料『漢英対照いろは辞典』・『漢語英訳辞典』における日本語見出し採択状況によってさらに細かく分類し整理してみると、次の表3ようになる。例えば〔○○ー〕型は、『華英字典』で〔○〕（見出し・訳語掲出あり）、『漢英対照いろは辞典』で〔○〕（見出し語立項採択）、『漢語英訳辞典』で〔ー〕（見出し語不採択）といった要領である。また、同様の型分類を行った『写真石版附音挿図英和字彙』のデータについても合わせて表3として掲出し、両資料間の比較に便することとする。

表3中、『華英字典』で〔○〕型となる69項目全体の中で見れば、〔○○○〕・〔○○ー〕・〔○ー○〕・〔○ーー〕型中で〔○○○〕型が56項目と占有する率が高い。つまりここでは本調査の範囲内と言えることであるが、『華英字典』で収載されながら後代の『漢英対照いろは辞典』・『漢語英訳辞典』で立項されないものは少数であり、『華英字典』訳語中で『英語節用集』と共通する

表 3

		『英語節用集』所収部							計	
		宗哲	学術	宗応	人官	政法	政応	堂処		年歴
『英語節用集』	各所収部所属全項目数	135	61	284	160	123	93	40	18	914
	上記各項目数の全体内比率	14.8%	6.7%	31.1%	17.5%	13.5%	10.2%	4.4%	2.0%	100.0%
	各所収部内の 二字漢字表記語数	3	8	250	65	55	72	14	10	477
	上記二字漢字表記語の 当該所収部内における比率	2.2%	13.1%	88.0%	40.6%	44.7%	77.4%	35.0%	55.6%	52.2%
『華英字典』	対応する【○○○】型 項目数	1	4	27	10	5	5	2	2	56
	対応する【○○○】型の 二字漢字表記語内比率	33.3%	50.0%	10.8%	15.4%	9.1%	6.9%	14.3%	20.0%	11.7%
	対応する【○○ー】型 項目数	0	0	3	0	0	0	0	0	3
	対応する【○○ー】型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
	対応する【○ー○】型 項目数	0	0	4	1	0	0	0	0	5
	対応する【○ー○】型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	1.6%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
	対応する【○ーー】型 項目数	0	1	1	2	0	1	0	0	5
	対応する【○ーー】型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	12.5%	0.4%	3.1%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	1.0%
	各所収部内小計	1	5	35	13	5	6	2	2	69
	上記の二字漢字 表記語内比率	33.3%	62.5%	14.0%	20.0%	9.1%	8.3%	14.3%	20.0%	14.5%
	対応する二字漢字 表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477
『写真石版附音捕図英和字彙』	対応する【○○○】型 項目数	0	4	68	20	17	15	4	3	131
	対応する【○○○】型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	50.0%	27.2%	30.8%	30.9%	20.8%	28.6%	30.0%	27.5%
	対応する【○○ー】型 項目数	0	1	5	3	1	1	1	0	12
	対応する【○○ー】型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	12.5%	2.0%	4.6%	1.8%	1.4%	7.1%	0.0%	2.5%
	対応する【○ー○】型 項目数	0	0	7	1	0	0	1	0	9
	対応する【○ー○】型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	2.5%	0.6%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	1.0%
	対応する【○ーー】型 項目数	0	1	4	1	0	1	0	0	7
	対応する【○ーー】型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	12.5%	1.6%	1.5%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	1.5%
	各所収部内小計	0	6	84	25	18	17	6	3	159
	上記の二字漢字 表記語内比率	0.0%	75.0%	33.6%	38.5%	32.7%	23.6%	42.9%	30.0%	33.3%
	対応する二字漢字 表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477



ものはそれだけ後の対訳辞書群でも採用されたものが多いという結果を示している。

そもそも〔○〕型そのものが『華英字典』で低調であることと合わせて考えれば、第二次英学書ブーム期における訳語淘汰の一局面として、新たな創出訳語群に満ちた『哲学字彙』系の訳語語彙の勢いが強かったのに対し、『華英字典』のようなやや旧めの前代的な中国辞書系統の資料の収載語句の継続的な採用ということは難しい状況にあったことを窺わせる。このことは後述する〔△〕型・〔－〕型の多さと表裏を成すものであることは言うまでもない。

いずれにせよ、中国辞書系に依拠し訓読を施す体裁の対訳辞書群は、第二次英学書ブーム当初期に刊行されるものが見られた後は、やがて欧米辞書系を範とした対訳辞書群が主軸となって展開して行く以降の英学流行の中で、時代の潮流から外れて行くこととなり、急速に刊行自体が下火となって行く。その内実を、対訳語彙のレベルで観察してみると、やはりこのようなデータの動態として確認出来ることとなるのである。

それでは以下、各型の分類区分に従って語彙リストを提示しながら記述を進めて行きたい。

#### 4-1-1 〔○○○〕型

表3に示したように『華英字典』の〔○○○〕型は全部で56項目となる。これらを『英語節用集』の所収部別に整理して一覧すれば、次の通りである。

以下、語彙リスト中に区分して掲出された各所収部内では、『英語節用集』における立項配列順に並べて同書の「漢字表示／英語表示」の要領で示することとする<sup>(註12)</sup>。なお下線を引いたものは、『華英字典』では当該語形を片仮名表示の訓訳のみで示してあるものであり、特にその項目記述全体を《 》に入れて示した<sup>(註13)</sup>。

【宗哲】仏教/Buddhism 【學術】化学/Chemistry←Chemistry\* 数学/  
Mathematics 《算学。数理 スウガク》 語学/Philology←Phylology\*  
《詳レ字之学 ゴガク》 文学/Literature 《文字。文章 ブンガク》 【宗  
応】地獄/Hell 偶像/Idol 社会/Society① 靈魂/Soul 結果/Effect  
憂愁/Sorrow 真理/Truth 議論/Debate 《弁駁之論 ギロン》 記憶/  
Memory 《記性。記心。キラク。ヲボヘ》 心痛/Pang 不幸/Unfortunate

自殺/Suicide 《自尽。自棄<sub>レ</sub>命 ジサツ》 空虚/Vacuum 寺領/Parish  
 《牧師治下 ジリヤウ》 天命/Providence 《化生保養 テンメイ 予備  
 ヨウジン》 結合/Coalescence 関係/Consequence 教育/Education  
 比較/Compare 餓死/Starve←Staved\* 抵抗/Resist 《抵【手篇+黨】。  
 【手篇+當】住。抗拒 テイコウスル》 世界/World 混沌/Chaos 死  
 骸/Corpse←Corse\* 風俗/Manner 全能/Almighty←Almight\* 創  
 造/Creation 【人官】朋党/Party① 兵卒/Soldier 《壮士 イウシヤ  
 士卒。兵丁 ヘイツツ》 奴隸/Slave 《奴。奴僕。奴才 ドレイ》 囚人/  
 Prisoner 巡査/Policeman 《差役 ジュンサ》 官員/Officer 両親/  
 Parent 《父母。双親 リヤウシン》 兄弟/Brother 姉妹/Sister 神仙/  
 Genii 【政法】民政/Democracy 《推<sub>レ</sub>民自主<sub>一</sub>之<sub>二</sub>国政<sub>一</sub> ミンセイ》 平安  
 /Peace① 政府/Government 内閣/Cabinet 命令/Order② 【政応】  
 勢力/Energy 交誼/Friendship 平安/Peace② 全権/Absolute-power  
 問題/Problem 《所<sub>レ</sub>問之<sub>二</sub>話<sub>一</sub> モンダイ》 【堂処】 宮殿/Palace 病院/  
 Hospital 《施薬院 ビヤウイン 窮人館 キウイクジヨ》 【年歴】 歴史/  
 History 社会/Society②

「問題/Problem」に関しては、坂本（2008）中で言及したように『写真石版附音插图英和字彙』には「問<sup>トヒ</sup>題<sup>ダイ</sup>」とあったものだが、『華英字典』では上に示したとおり漢文句形式が表示されたあとに片仮名訓訳として二字漢字表記語形が挙げられるということであり、訳語が「句」から「語」による訳出へと向う過渡のありさまが看取出来る。

このように訓訳『華英字典』には、もともと原書にあった中国文記述を漢文句形式で活かすという訓読方式が採られている部分が割合に多く残っており、それ故に前代的な翻訳手法の印象を拭い去れない気味がある。該書が第二次英学書ブーム期の中ではやがて淘汰され行く部類に入ってしまう所以であるが、『英語節用集』『漢英対照いろは辞典』『漢語英訳辞典』に共有される〔○○○〕型が挙例のとおり存在する点においては、全くに当代の英学流行に関連しないとはまではいえないところである。しかしながら、その〔○○○〕型の勢力自体は『写真石版附音插图英和字彙』に比べても、よりさらに低調なところに、時代の潮流に取り残されて行く訓読系対訳辞書群の実情をまた、そこに窺うことが出来るのである。



ろう訓訳者には、日本で緊密さを増し行く「カウクワツ」が「検索ニ苦ムモノ」に対し項末片仮名表示で明瞭に印象づけられるべきとの判断がなされるのであろう。あるいは「漢語」である「詭譎」に対する付訓として、項内用例と同等の規準で「カウクワツ」は対訳語彙として扱われそこに置かれるに至ったものと捉えるべきでもあろう。

第二次英学書ブーム当初期に刊行された該書に見られるこの動向を、こうして『和英語林集成』等の補助線を引きながら見ると、「漢語」との決別、中国語訳からの離脱をいかにして果たしながら、翻訳対訳の世界が当期に展開していったかが、各個の語彙レベルでより鮮明に浮かび上がってくるように思われるのである。

#### 4-1-4 【〇--】型

全5項目を所収部別に示すと、次のとおり。

【學術】詩学/Poesy 《詩詞。作<sub>レ</sub>詩之法 シガク》 【宗応】敬謹/  
Respectful 【人官】婦女/Woman 齒医/Dentist 【政応】同情/  
Sympathy

「詩学」「Poesy」に関しては、『哲学字彙』初版・第二版とも訳語・英語ともに見受けられず、『英語節用集』が独自に収載したものである。『和英語林集成』においても、訳語・英語とも英和の部・和英の部ともに見出し項目に挙げられていない。そうした中、『華英字典』において項末片仮名表示として掲出される点は注目出来る。該書ではさらに、「Poesy」から二項目あとの「Poetry」項に次のように見られる。

Poetry 詩。詩学 シガク

つまり「詩学」という新漢語形の側から見れば、漢字表示とセットで掲出されるという点において、「Poesy」項よりは「Poetry」項において、「Poetry」―「詩学」―「シガク」の三要素が密接に連繋した強固な対訳の一セットが『華英字典』において形成されているわけだが、例えば『和英語林集成』英和の部において「Poetry」項には初版から第三版まで一貫して「Shi, uta」が挙げ続けられており、こちらにはこちらで「Poetry」―「詩」といった連繋が出来上がっていたとしか言えない。そしてまた、後者のペアが後代概ね現代における日用通用筆頭のものとなって行くという筋道までは描けそうだが、まだまだ情報の集積の不足も否めぬ中、結局このあたりの齟齬について

は、当代の諸対訳辞書間において不統一な訳語体系が存在していたとまでしか、今は解説し得る術を持たない。今後解明を目指して行きたいと思う。

## 4-2 『華英字典』において〔△〕型の項目

先ず『華英字典』で〔△〕型となる全264項目を分類し、同様に整理した『写真石版附音挿図英和字彙』のデータとまとめて見ると、次の表4のようになる。

部分的な語彙調査ながら、今回取りあげた『華英字典』と『写真石版附音挿図英和字彙』とが、いずれも似た数値傾向を示していることが興味深い。中国系統の訳語世界を淵源とする資料の近似性として捉えたいが、部分的に細かく見れば無論相違がある。例えば『華英字典』では合計欄で比率50%以上の所収部について、数値上の序列は百分率の高い順に「堂処」「宗応」「人官」「政応」となるが、『写真石版附音挿図英和字彙』では「政応」「年歴」「政応」「宗応」「堂処」といった具合である。

それでは以下、各型別に語彙リストを挙げながら見て行くこととする。

### 4-2-1 〔△○○〕型

『華英字典』の対応する英語見出し項目の掲出訳語中に当該二字漢字表記語が掲出されないのに対して、『漢英対照いろは辞典』・『漢語英訳辞典』では当該二字漢字表記語が見出し語立項されるというパターンである。〔△○○〕型全184項目を所収部別に示すと、次のようになる。

【學術】哲学/Philosophy←Phylosophy\* 【宗応】宗教/Religion 天堂/Heaven① 恭敬/Worship 私慾/Selfishness 真実/Real 慈悲/Grace  
 ① 蘇生/Revive 感動/Impression 驕慢/Pride 信仰/Devotion 原因/Cause 宗徒/Apostle 道德/Morality 觀念/Idea 虚無/Void 悲痛/Lamentation 感応/Feeling① 術数/Policy① 氣力/Vigour 方便/Mean 性質/Character 偏執/Bias 信用/Belief 集会/Assemble 異説/Dissent 金言/Aphorism 讚美/Approbation 不朽/Perpetuity 憐愍/Pity 題目/Thesis 教会/Congregation 熱心/Zeal 名辞/Term 昌盛/Prosperity←Frosperity\* 勳勞/Merit 名目/Name 利用/Utility 奇遇/Accident 誠信/Faith 驚愕/Wonder 門派/System←Sistem\*

表 4

		『英語節用集』所収部								計
		宗哲	學術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	
『英語節用集』	各所収部所属全項目数	135	61	284	160	123	93	40	18	914
	上記各項目数の全体内比率	14.8%	6.7%	31.1%	17.5%	13.5%	10.2%	4.4%	2.0%	100.0%
	各所収部内の 二字漢字表記語数	3	8	250	65	55	72	14	10	477
	上記二字漢字表記語の 当該所収部内における比率	2.2%	13.1%	88.0%	40.6%	44.7%	77.4%	35.0%	55.6%	52.2%
『華英字典』	対応する〔△○○〕型 項目数	0	1	104	22	19	30	5	3	184
	対応する〔△○○〕型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	12.5%	41.6%	33.8%	34.5%	41.7%	35.7%	30.0%	38.6%
	対応する〔△○ー〕型 項目数	0	0	14	9	1	5	1	0	30
	対応する〔△○ー〕型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	5.6%	13.8%	1.8%	6.9%	7.1%	0.0%	6.3%
	対応する〔△ー○〕型 項目数	0	1	8	2	0	1	1	1	14
	対応する〔△ー○〕型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	12.5%	3.2%	3.1%	0.0%	1.4%	7.1%	10.0%	2.9%
	対応する〔△ーー〕型 項目数	0	0	25	4	1	4	2	0	36
	対応する〔△ーー〕型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	10.0%	6.2%	1.8%	5.6%	14.3%	0.0%	7.5%
	各所収部内小計	0	2	151	37	21	40	9	4	264
	上記の二字漢字 表記語内比率	0.0%	25.0%	60.4%	56.9%	38.2%	55.6%	64.3%	40.0%	55.3%
	対応する二字漢字 表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477
	対応する〔△○○〕型 項目数	0	1	85	16	16	31	4	5	158
『写真・右版附音插图英和字彙』	対応する〔△○○〕型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	12.5%	34.0%	24.6%	29.1%	43.1%	28.6%	50.0%	33.1%
	対応する〔△○ー〕型 項目数	0	0	13	6	1	4	0	0	24
	対応する〔△○ー〕型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	5.2%	9.2%	1.8%	5.6%	0.0%	0.0%	5.0%
	対応する〔△ー○〕型 項目数	0	1	9	2	0	2	1	1	16
	対応する〔△ー○〕型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	1.6%	3.2%	1.3%	0.0%	2.2%	2.5%	5.6%	1.8%
	対応する〔△ーー〕型 項目数	1	0	27	5	3	9	2	0	47
	対応する〔△ーー〕型の 二字漢字表記語内比率	33.3%	0.0%	10.8%	7.7%	5.5%	12.5%	14.3%	0.0%	9.9%
	各所収部内小計	1	2	134	29	20	46	7	6	245
	上記の二字漢字 表記語内比率	33.3%	25.0%	53.6%	44.6%	36.4%	63.9%	50.0%	60.0%	51.4%
	対応する二字漢字 表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477

究竟/Ultimate←Ultimate\* 真如/Reality 洗礼/Baptism 慈悲/Grace  
 ② 清浄/Purity 解釈/Explanation 神聖/Holiness 絶対/Absolute  
 発明/Invention 注意/Attention 魔法/Incantation 高言/Rant 願望/  
 Requisition 講談/Lecture←Pecture\* 差別/Difference 帰服/  
 Obedience 改宗/Convert 便利/Convenient 会議/Convention① 永  
 続/Continued 争論/Contention 一致/Consort 嫉妬/Jealousy 落涙/  
 Shed-tear 改革/Revolution① 一般/General 衰微/Decline 理論/  
 Declamation 和睦/Concord 社中/Company 音楽/Music 編輯/  
 Compilation 行状/Comportment 内部/Interior 生活/Life 骸骨/  
 Skeleton 名誉/Honor 戒心/Caution 単純/Similar 旅行/Travel  
 妄想/Fanciful 石碑/Monument←Manumend\* 悦服/Obey 習慣/  
 Custom① 攻撃/Attack 堪忍/Abstain 驕慢/Self-conceit 拝礼/Sup  
 plication←Sppliation\* 自由/Liberty 意思/Will 才智/Intelligence  
 無形/Spiritual 法則/Method 公平/Conscientiously 道理/Reason  
 一揆/Insurrection 支配/Domination 名声/Reputation 葬礼/  
 Interment 慣習/Habit 天賦/Implanted 有情/Sentient 非情/  
 Insensible 【人官】隠者/Eremit 僧正(邪教ノ)/Bishop 紳士/  
 Gentle-man 農民/Peasant 商人/Merchant 貴族/Noble-man 国民/  
 Nation 伶人/Musician 長官/President 出家/Monk 眷属/Kin 医  
 者/Physician① 法師/Clerk 叔父/Uncle 叔母/Aunt 女王/Queen  
 ←Queen\* 宰相/Prime Minister←Prim Minister\* 門徒/Member①  
 盲目/Blind 医師/Physician② 博士/Professor 主宰/Ruler 【政法】  
 国家/State 権利/Right 法制/Law① 軍律/Martial-law 革命/  
 Revolution② 王国/Kingdom 帝国/Empire 憲法/Consti-tution 管  
 轄/Govern 政法/Policy② 参議/Privy councillor 布達/Proclamation  
 広告/Notification 指令/Order① 法律/Law② 規則/Regulation①  
 建白/Memorial 請願/Petition 商議/Negotiation 【政応】徒党/Party  
 ② 同盟/Alliance 補任/Appoint-ment 律令/Canon 結合/  
 Combination 約定/Compact 要路/Compendium 完全/Complete 連  
 絡/Connection 允許/Consent 抑制/Control 公会/Convention②  
 節操/Continenence 独断/Dogma 結局/Goal 反逆/Rebellion 服従/  
 Homage 償還/Payment 堅忍/Perseverance 主義/Principle 特許/



Privilege←Privilage\* 遁辞/Quibble 理由/Rationale←Rational\* 駁撃/Refutation 条例/Regulation② 会員/Member② 規則/Rule 定論/Theorem 与論/Public-opinion 弁理/Transaction 【堂処】鐘楼/Belfry 首府/Capital 旅館/Hotel 関税/Custom② 銀行/Bank 【年歴】年代/Age 闘争/Struggle②←Straggle\* 事実/Fact

これらのうち、二重下線を付したものは『写真石版附音挿図英和字彙』では当該英語見出し項記述中に標記の訳語が存する項目、つまり該資料についての〔○〕型であったもので、ここでの〔△○○〕型184項目中65項目35.3%にすぎないことが分かる。それらを『英語節用集』所収部別に整理してみると、次のようになる。

表 4－1

	『英語節用集』所収部								計
	宗哲	學術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	
二字漢字表記語数	3	8	250	65	55	72	14	10	477
『華英字典』〔△○○〕型項目数	0	1	104	22	19	30	5	3	184
〔△○○〕型内『写真石版附音挿図英和字彙』〔○〕型項目数	0	0	39	13	5	7	1	0	65
同上項目〔△○○〕型内比率	0.0%	0.0%	37.5%	59.1%	26.3%	23.3%	20.0%	0.0%	35.3%

表 4－1 を見ると、項目数自体は「宗応」が39語と多いが、比率としては「人官」部において22語中13語59.1%となり最も高いことが分かるが、それでも合計で65項に留まるのである。

試みにその「人官」部13語について、『和英語林集成』英和の部における収載状況を調査してみると、次のようになっている<sup>(註15)</sup>。

- ①当該英語見出しがⅠ・Ⅱ・Ⅲともに存する項目

〔○○○〕 Peasant Merchant Physician Uncle Blind

〔－○○〕 Nation 〔－――〕 Noble-man Queen Ruler

- ②当該英語見出しがⅡ・Ⅲに存する項目

〔\*○○〕 Professor 〔\*－○〕 Musician

- ③当該英語見出しがⅠ・Ⅱ・Ⅲともに立項されない項目

Eremit Prime Minister



上記のようになっており、『和英語林集成』英和の部Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ各版で訳語まで安定して掲出される①〔○○○〕は5語と、やはり圧して多いわけではない。一方で、むしろ①中で〔――〕が3語も見られるといったことが、当代における『華英字典』の〔△○○〕型のものが『写真石版附音挿図英和字彙』でも、やはりそうは積極的に訳語掲出まで至っていないことの背景を窺わせるものといえよう。

#### 4-2-2 〔△○-〕型

全30項目を所収部別に示すと、次のようになる。

【宗応】楽園/Paradise←Paradice\* 常住/Unchangeable 無常/Changeable 偽計/Deceite 成效/Result 瑞夢/Lucky-dream←Luchy-dream\* 預言/Prophesy 強欲/Lust 廃滅/Ruin 供物/Sacrifice 演説/Speech 運命/Destiny 土葬/Catacombs 元始/Beginning 【人官】外道/Heresy 仏陀/Buddha 邪蘇/Christ 巫女/Witch 悪魔/Satan 幽霊/Sprite 詩家/Poet 弁者/Eloquent 牧師/Pedagogue←Pedagoge\* 【政法】動議/Motion 【政応】種属/Race① 非議/Reproach 詭弁/Sophism 競争/Struggle① 発動/Act 【堂処】墓地/Church-yard

二重下線は同様に『写真石版附音挿図英和字彙』で〔○〕型となるものであるが、上記〔△○-〕型中7項目で23.3%に留まっている。

#### 4-2-3 〔△-○〕型

全14項目を所収部別に示すと、次のようになる。

【學術】科学/Science 【宗応】正義/Justice① 上天/Heaven② 刑罪/Punishment 外部/Exterior 愛情/Love 愛情/Inclination 悔改/Repentance 情緒/Emotion 【人官】賢者/Wise-man 惡漢/Wretch 【政応】正義/Justice② 【堂処】市街/Street 【年歴】人種/Race②

ここでも『写真石版附音挿図英和字彙』〔○〕型となる二重下線の項目数は3であり、21.4%に過ぎない。『英語節用集』では「Love」・「Inclination」の両項において、対応する日本語訳語としてともに「愛情」を掲出している。いま、『英語節用集』に大きく影響を与えている『哲学字彙』の初版（明治14年刊）・第二版（明治17年5月刊）の両項目を確認すれば、次のとおりである。

『哲学字彙』初版：Love 愛情 Inclination 偏向 性癖

同上 第二版：Love 親愛 恋情 Inclination 偏向 性癖 意奴  
『哲学字彙』は初版「Love」項において、わが国でも古くから用いられる「愛情」を訳語として一旦掲げながら、第二版で「親愛 恋情」へと記述変更を行っている。この動きを併せ見れば、明治17年11月刊の『英語節用集』において『哲学字彙』初版～第二版間での訳語更改が反映されないのは、時流に乗った企画出版の慌ただしい編集作業であったという実態が窺われる。

因みに、『和英語林集成』英和の部における「Love」項の訳語掲出状況は、次のとおりである。

『和英語林集成』初版：On-ai chō-ai itzukushimi ainen jōai koi rembo  
noroke

同上 第二・三版：Ai On-ai chō-ai itzukushimi ainen jō-ai koi rembo  
noroke aijaku

こちらでは「愛」「愛着」が第二版以降追加されるが、そもそも「愛情」を訳語として挙げることはない。やはり編者ヘボン乃至その日本人助言者にとって、「愛情」は古い言葉と判断され採用に及ばなかったのではないかと推察することも、ここでは可能であろう。

そして『英語節用集』が「Inclination」においても、そのような事情にあったと見られる「愛情」の掲載を、『哲学字彙』の掲出状況にもかかわらず行っているのは、編者佐野が緒言において「一ハ以テ寒村僻邑ノ諸子ノ為ニシ」と説くように、啓蒙の精神に則り旧くなじんだ語もまた挙げて行くという方針の表れでもあろう。そしてまた一方前言に続けて「一ハ以テ已達弁士ノ備忘ニ供セン」としたように、専門性と啓蒙性の両性格を孕み持った該資料の特性というものをよく示すところであると言える。

#### 4-2-4 〔△-〕型

全36項目を所収部別に示すと、次のようになる。

【宗応】虚忘/Absurd 怒恚/Rage 画像/Portrait 預知/Prescience←  
Precience\* 味趣/Taste 邪執/Prejudice 謬信/Superstition 崇奉/  
Adulation← Adration\* 布弘/Propagation 信約/Credit 有体/  
Corporeal 執意/Volition 永存/Persistence 不正/Wrong 天真/  
Natural 定道/Predestination 心意/Mind 不能/Impossible 推理/

Inference 原素/Elements 略説/Summary 智覚/Feeling② 殖民/  
Settled 習成/Factitious 拝像/Idolatry 【人官】仏弟/Buddhist 諸生/  
Scholar 教官/Teacher 逸士/Hermit 【政法】機制/Mechanism  
【政応】内政/Administ-ration 反情/Antipathy 公準/Postu-late 預察/  
Presumption 【堂処】貧院/Alms 屋宇/Edifice

同じく『写真石版附音挿図英和字彙』〔○〕型は36項目中4項目11.1%と低く、〔△～〕型中でも最も低い値となっている。

ここで、ここまで挙げてきた『華英字典』〔△～〕型における『写真石版附音挿図英和字彙』〔○〕型の状況を示せば、表4-2のようになる。

表4-2

	『英語節用集』所収部								計
	宗哲	學術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	
二字漢字表記語数	3	8	250	65	55	72	14	10	477
〔△○○〕型項目数	0	1	104	22	19	30	5	3	184
〔△○○〕型内『写真石版附音挿図英和字彙』〔○〕型項目数	0	0	39	13	5	7	1	0	65
同上項目〔△○○〕型内比率	0.0%	0.0%	37.5%	59.1%	26.3%	23.3%	20.0%	0.0%	35.3%
〔△○ー〕型項目数	0	0	14	9	1	5	1	0	30
〔△○ー〕型内『写真石版附音挿図英和字彙』〔○〕型項目数	0	0	2	3	0	1	1	0	7
同上項目〔△○○〕型内比率	0.0%	0.0%	14.3%	33.3%	0.0%	20.0%	100.0%	0.0%	23.3%
〔△ー○〕型項目数	0	1	8	2	0	1	1	1	14
〔△ー○〕型内『写真石版附音挿図英和字彙』〔○〕型項目数	0	0	2	1	0	0	0	0	3
同上項目〔△○○〕型内比率	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21.4%
〔△ーー〕型項目数	0	0	25	4	1	4	2	0	36
〔△ーー〕型内『写真石版附音挿図英和字彙』〔○〕型項目数	0	0	4	0	0	0	0	0	4
同上項目〔△○○〕型内比率	0.0%	0.0%	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%

該表を見れば、『華英字典』〔△～〕型中で表の上方の〔△○○〕型から『漢英対照いろは辞典』・『漢語英訳辞典』での収載がともに行われていない〔△―〕型に向かって、『写真石版附音挿図英和字彙』〔○〕型の数値も下がって行くさまが見て取れる。このことは、第二次英学書ブーム当初期の諸系統の対訳辞書類がひしめく中で成った『華英字典』『写真石版附音挿図英和字彙』という資料に収められる訳語語彙の中、『哲学字彙』系統の『英語節用集』と訳語を異にするものが、後代の集成的な両対訳辞書の収載状況において低調であることを示している。本調査の範囲に限った結果から見ると、『哲学字彙』系統の訳語の本流とも呼ぶべき一群の訳語語彙に対して、そこから外れた訳語が生き残って行くことは、比較的厳しい状況に置かれていた事実を窺わせる。

『哲学字彙』系統の訳語については、例えば当代の一級対訳辞書資料とされる『和英語林集成』英和の部においても、その活用ぶりを窺うことが出来る。つまり、初版・第二版で掲出されていなかった『哲学字彙』系統の訳語そのものあるいは項目そのものが、第二次英学書ブーム期の第三版において増補されるといった事象を容易に確認することが出来るのである<sup>(註16)</sup>。

#### 4-3 『華英字典』において〔一〕型の項目

ここでは、当該の英語そのものが見出しとして掲出されなかったものを集めて検討する。

まず、〔一〕型全体のありさまは、これまで同様『写真石版附音挿図英和字彙』のそれとあわせて示せば、表5の通りである。

表5を見れば、まず『華英字典』における〔一～〕型総計が144語30.2%と『写真石版附音挿図英和字彙』の総計73語15.3%のおよそ2倍の値を示す点が際立っている。この『華英字典』の状況を見れば、『英語節用集』との齟齬がより大きなものとなっていることを示しているのであって、第二次英学書ブーム当初期において、『哲学字彙』系の新出対訳語と前代的な訓訳系対訳辞書との懸隔を反映するものとして興味深い。

まとまった項目数を抱える所収部別に見ると、「政法」の数値が『華英字典』『写真石版附音挿図英和字彙』においてともに高く、とりわけ前者においては所収部内55語中で〔一～〕型は過半数の29語52.7%にも上る。そのうちの17語が〔一○○〕型であり、後代の集成的対訳辞書において掲出される

表 5

		『英語節用集』所収部								計
		宗哲	學術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	
『英語節用集』	各所収部所属全項目数	135	61	284	160	123	93	40	18	914
	上記各項目数の 全体内比率	14.8%	6.7%	31.1%	17.5%	13.5%	10.2%	4.4%	2.0%	100.0%
	各所収部内の二字 漢字表記語数	3	8	250	65	55	72	14	10	477
	上記二字漢字表記語の 当該所収部内における比率	2.2%	13.1%	88.0%	40.6%	44.7%	77.4%	35.0%	55.6%	52.2%
『華英字典』	対応する〔一〇〇〕型 項目数	1	0	42	10	17	14	1	4	89
	対応する〔一〇〇〕型の 二字漢字表記語内比率	33.3%	0.0%	16.8%	15.4%	30.9%	19.4%	7.1%	40.0%	18.7%
	対応する〔一〇一〕型 項目数	0	1	4	1	3	0	1	0	10
	対応する〔一〇一〕型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	12.5%	1.6%	1.5%	5.5%	0.0%	7.1%	0.0%	2.1%
	対応する〔一一〇〕型 項目数	0	0	8	1	0	1	1	0	11
	対応する〔一一〇〕型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	3.2%	1.5%	0.0%	1.4%	7.1%	0.0%	2.3%
	対応する〔一一一〕型 項目数	1	0	10	3	9	11	0	0	34
	対応する〔一一一〕型の 二字漢字表記語内比率	33.3%	0.0%	4.0%	4.6%	16.4%	15.3%	0.0%	0.0%	7.1%
	各所収部内小計	2	1	64	15	29	26	3	4	144
	上記の二字漢字 表記語内比率	66.7%	12.5%	25.6%	23.1%	52.7%	36.1%	21.4%	40.0%	30.2%
	対応する二字漢字 表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477
『写真石版附音捕図英和字彙』	対応する〔一〇〇〕型 項目数	2	0	20	6	8	3	0	1	40
	対応する〔一〇〇〕型の 二字漢字表記語内比率	66.7%	0.0%	8.0%	9.2%	14.5%	4.2%	0.0%	10.0%	8.4%
	対応する〔一〇一〕型 項目数	0	0	3	1	2	0	1	0	7
	対応する〔一〇一〕型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	1.2%	1.5%	3.6%	0.0%	7.1%	0.0%	1.5%
	対応する〔一一〇〕型 項目数	0	0	4	1	0	0	0	0	5
	対応する〔一一〇〕型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	1.4%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
	対応する〔一一一〕型 項目数	0	0	5	3	7	6	0	0	21
	対応する〔一一一〕型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	2.0%	4.6%	12.7%	8.3%	0.0%	0.0%	4.4%
	各所収部内小計	2	0	32	11	17	9	1	1	73
	上記の二字漢字 表記語内比率	66.7%	0.0%	12.8%	16.9%	30.9%	12.5%	7.1%	10.0%	15.3%
	対応する二字漢字 表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477

訳語との距離も訓訳系対訳辞書では当該領域等においてそれだけ大きいのであって、当代の読者・辞書利用者がこれらの辞書の収載訳語を並べ観る際に政治・法律領域での相違がまず印象に上ったであろうことなどが、容易に想像できる。

そうした観点を交えながら、以下各型についての語彙リストを挙げて見て行きたいと思う。

#### 4-3-1 [-OO] 型

全89項目を所収部別に示すと、次のようになる。

【宗哲】神道/Shintoism 【宗応】克己/Self-denial 現世/Present-world  
木像/Wooden-idol 悪業/Evil-deed 感覚/Sensation 禁止/  
Confinement 施物/Almonry 除地/A`llodium 寓言/Phenakism 瑞  
相/Lucky-omen ← Luchy-omen\* 浄土/Purgatory 正直/Justness ←  
Jastness\* 民情/Nationality① 怠惰/Neglectedness 奇談/Paradox②  
← Padox\* 愚痴/Obtuseness 故郷/Native-place 説法/Preaching  
客舎/Public-house 練熟/Masterliness 自負/Self-confidence 平等/  
Equality ← Eequality\* 独立/Independence 後悔/Contriteness 守護/  
Conservation 裁判/Judicature 侵入/Invasion ← Invasion\* 野蛮/  
Barbaric 遍歴/Extravagated 公会/Parliament ← Partiamment\* 基礎/  
Founded 臆説/Hypothetical 遺物/Relics 誘引/Exticement 精進/  
Religious-abstinence ← Religious-abstmenence\* 自滅/Self-destruction 独  
学/Self-educated 戦争/Warfare 文明/Civilization 教化/Humanization  
異教/Gentilism 降生/Incarnation 【人官】化身/Avatar 天狗/  
Cherubim 平民/Laity 皇族/Royal-family 学者/Learned-man 老人/  
Oldman 子孫/Offspring 学士/Scientist 聖人/Holy-man 元祖/  
Originator 【政法】政権/Political-right 民法/Civil-law 刑法/Criminal-  
law 政法/Political-law 租税/Taxation 市区/Municipality 民情/  
Nationality② 国政/Polity 行政/Executive-power 立法/Legislative-  
power 虐政/Cruel-Government 県令/Governor of province ← Governor  
of provinc\* 除籍/Denationalization 家政/Economics 国法/  
Municipal-law 法式/Modus 誤用/Misuse 【政応】黙許/Tacit-consent  
腕力/Physical-force 虚誉/Vain-glory 無罪/Inno-cence 教唆/

Instigation 義気/Patriotism 口実/Pretension 未決/Problematic 贅言/Redundancy 隠遁/Seclusion 撰択/Selection 廉節/Temperance  
理論/Theory 許容/Toleration 【堂処】薬舗/Apothecary-shop 【年歴】  
服従/Subjection 建国/Nationalization ← Nationali-gation\* 帰化/  
Naturalization ← Naturali-gation\* 総計/Totality

ここで、『漢英対照いろは辞典』・『漢語英訳辞典』において見出し立項された〔～〇〇〕型全て、即ち〔〇〇〇〕・〔△〇〇〕・〔－〇〇〕型を総合して一覧すると、表6のようになる。

〔～〇〇〕型全体は二字漢字表記語全477項目中329項目を占め69.0%と大勢力であるにもかかわらず、表6中の「政法」部に着目して見れば、『華英字典』においては〔〇〇〇〕型が5語9.1%と少なく、一方で〔△〇〇〕型が19語34.5%〔－〇〇〕型は先述のように17語で30.9%の値を示す。やはり、当該所収部領域をめぐるのは、第二次英学書ブーム当初期において諸系統対訳資料間での相違は小さくなかったことを窺わせる。勿論、『華英字典』の〔△〇〇〕型において、最大項目数を抱える「宗応」部やあるいは「政応」部の方が「政法」を上回る数値を示すなど、単純な様相ではない。

#### 4-3-2 〔－〇－〕型

全10項目を所収部別に示すと、次のとおり。ここではリスト掲出に留める。

【學術】神学/Theology 【宗応】涅槃/Nirvana ← Nivana\* 固執/Bigotry 後住(寺ノ)/Provisor 進化/Evolution 【人官】坊主/Monastic 【政法】少輔/Assistant vice minister 廢式/Modus-tollen 性法/Law of nature 【堂処】仏堂/Budder

#### 4-3-3 〔－－〇〕型

全11項目を所収部別に示すと、次のとおり。これもリスト掲出に留める。

【宗応】良心/Moral sense ← Moralsence\* 誘惑/Temptation 悪念/ Evil-thought 覚他/Tolead consciousness of otherselves 楽譜/Music-book 改正/Meliority 有形/Physical 正教/Orthodox 【人官】碩儒/Polymathy 【政応】中裁/Reconciliation 【堂処】本寺/Mother-church 【年歴】秘教/Esotericism

表 6

		『英語節用集』所収部								計
		宗哲	學術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	
『英語節用集』	各所収部所属全項目数	135	61	284	160	123	93	40	18	914
	上記各項目数の全体内比率	14.8%	6.7%	31.1%	17.5%	13.5%	10.2%	4.4%	2.0%	100.0%
	各所収部内の 二字漢字表記語数	3	8	250	65	55	72	14	10	477
	上記二字漢字表記語の 当該所収部内における比率	2.2%	13.1%	88.0%	40.6%	44.7%	77.4%	35.0%	55.6%	52.2%
『華英字典』	対応する〔〇〇〇〕型 項目数	1	4	27	10	5	5	2	2	56
	対応する〔〇〇〇〕型の 二字漢字表記語内比率	33.3%	50.0%	10.8%	15.4%	9.1%	6.9%	14.3%	20.0%	11.7%
	対応する〔△〇〇〕型 項目数	0	1	104	22	19	30	5	3	184
	対応する〔△〇〇〕型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	12.5%	41.6%	33.8%	34.5%	41.7%	35.7%	30.0%	38.6%
	対応する〔－〇〇〕型 項目数	1	0	42	10	17	14	1	4	89
	対応する〔－〇〇〕型の 二字漢字表記語内比率	33.3%	0.0%	16.8%	15.4%	30.9%	19.4%	7.1%	40.0%	18.7%
	各所収部内小計	2	5	173	42	41	49	8	9	329
	上記の二字漢字 表記語内比率	66.7%	62.5%	69.2%	64.6%	74.5%	68.1%	57.1%	90.0%	69.0%
	対応する二字漢字 表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477
『写真石版附音挿図英和字彙』	対応する〔〇〇〇〕型 項目数	0	4	68	20	17	15	4	3	131
	対応する〔〇〇〇〕型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	50.0%	27.2%	30.8%	30.9%	20.8%	28.6%	30.0%	27.5%
	対応する〔△〇〇〕型 項目数	0	1	85	16	16	31	4	5	158
	対応する〔△〇〇〕型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	12.5%	34.0%	24.6%	29.1%	43.1%	28.6%	50.0%	33.1%
	対応する〔－〇〇〕型 項目数	2	0	20	6	8	3	0	1	40
	対応する〔－〇〇〕型の 二字漢字表記語内比率	66.7%	0.0%	8.0%	9.2%	14.5%	4.2%	0.0%	10.0%	8.4%
	各所収部内小計	2	5	173	42	41	49	8	9	329
	上記の二字漢字 表記語内比率	66.7%	62.5%	69.2%	64.6%	74.5%	68.1%	57.1%	90.0%	69.0%
	対応する二字漢字 表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477



#### 4-3-4 〔――〕型

全34項目を所収部別に示すと、次のようになる。

【宗哲】秘教/Esotericism 【宗応】自覚/Self-consciousness 自利/Self-benefit 利他/Altruism 信心/Spirituality 寺法/Canon-law←Conon-Law\* 無碍/Unconditional←Unconditioneal\* 輪廻/Transmission 激因/Stimulus 虚霊/Spiritual existence 理想/Ideal 【人官】演者/Speech-man 蕃民/Savageness 審吏/Justice of the peace 【政法】天権/Natural-right 徳権/Moral-right 法権/Legal-right 君政/Monarchy 純権/Absolute-right 大輔/Vice-minister 知府/Governor of department 用式/Modus-ponens 体制/Organization←Ogani-zation\* 【政応】明許/Express-consent 逆説/Paradox① 妄論/Paralogism 大本/Fundamental-principle 自制/Self-control 自護/Self-defence 自責/Self-reproach 自決/Self-determination 通理/Universal-truth 逆理/Unreasonable←Anrea-sonable\* 漸化/Variation

上記リスト中、一点鎖線を付したものは坂本（2008）において報告した際『写真石版附音挿図英和字彙』で〔――〕型以外であった14語であるが、該書ではいずれも英語見出しを掲げて訳語が異なる〔△――〕型であり、『華英字典』との扱いに相違があることも分かる。

いずれにせよ、第二次英学書ブーム期において『哲学字彙』系の『英語節用集』において掲出された中の僅か447項目の調査でやや後の集成的な『漢英対照いろは辞典』・『漢語英訳辞典』を含めてみて、これだけのズレがあること、そのズレを種々併せ孕みながら当期の英学ブームが展開していたこと、それらがここにおいても確認できることとなる。

とりわけ、翻訳世界の漢字表記語をめぐっては当期の集大成的な資料でもある『漢英対照いろは辞典』・『漢語英訳辞典』においてともに〔―〕である諸型すわなち〔～――〕型項目群全体のありさまが気になるところである。そこで、それらをまとめてみると表7のとおりであった。

表7を見れば、これら〔～――〕型内では『華英字典』の〔―――〕型34語7.1%が『写真石版附音挿図英和字彙』の同型21語4.4%のおよそ1.6倍の値を示す点に着目出来る。つまり、ここでも『英語節用集』と訓訳辞書『華英字典』との懸隔の方が『写真石版附音挿図英和字彙』よりもさらに大きいことが分かるのである。

表 7

		『英語節用集』所収部								計
		宗哲	學術	宗応	人官	政法	政応	堂処	年歴	
『英語節用集』	各所収部所属全項目数	135	61	284	160	123	93	40	18	914
	上記各項目数の全体内比率	14.8%	6.7%	31.1%	17.5%	13.5%	10.2%	4.4%	2.0%	100.0%
	各所収部内の 二字漢字表記語数	3	8	250	65	55	72	14	10	477
	上記二字漢字表記語の 当該所収部内における比率	2.2%	13.1%	88.0%	40.6%	44.7%	77.4%	35.0%	55.6%	52.2%
『華英字典』	対応する〔〇―〕型 項目数	0	1	1	2	0	1	0	0	5
	対応する〔〇―〕型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	12.5%	0.4%	3.1%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	1.0%
	対応する〔△―〕型 項目数	0	0	25	4	1	4	2	0	36
	対応する〔△―〕型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	10.0%	6.2%	1.8%	5.6%	14.3%	0.0%	7.5%
	対応する〔――〕型 項目数	1	0	10	3	9	11	0	0	34
	対応する〔――〕型の 二字漢字表記語内比率	33.3%	0.0%	4.0%	4.6%	16.4%	15.3%	0.0%	0.0%	7.1%
	各所収部内小計	1	1	36	9	10	16	2	0	75
	上記の二字漢字 表記語内比率	33.3%	12.5%	14.4%	13.8%	18.2%	22.2%	14.3%	0.0%	15.7%
	対応する二字漢字 表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477
『写真石版附音挿図英和字彙』	対応する〔〇―〕型 項目数	0	1	4	1	0	1	0	0	7
	対応する〔〇―〕型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	12.5%	1.6%	1.5%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	1.5%
	対応する〔△―〕 型項目数	1	0	27	5	3	9	2	0	47
	対応する〔△―〕型の 二字漢字表記語内比率	33.3%	0.0%	10.8%	7.7%	5.5%	12.5%	14.3%	0.0%	9.9%
	対応する〔――〕型 項目数	0	0	5	3	7	6	0	0	21
	対応する〔――〕型の 二字漢字表記語内比率	0.0%	0.0%	2.0%	4.6%	12.7%	8.3%	0.0%	0.0%	4.4%
	各所収部内小計	1	1	36	9	10	16	2	0	75
	上記の二字漢字 表記語内比率	33.3%	12.5%	14.4%	13.8%	18.2%	22.2%	14.3%	0.0%	15.7%
	対応する二字漢字 表記語合計	3	8	250	65	55	72	14	10	477

坂本（2008）においては、『写真石版附音挿図英和字彙』について『漢英対照いろは辞典』・『漢語英訳辞典』といった大規模対訳辞典中においてともに〔一〕扱いとなる項目すなわち〔～～〕諸型の存在が、『英語節用集』の啓蒙性と専門性を孕み持つありさまを反映する現象であるとして論じた。表7の『華英字典』のありさまは、そのことを『華英字典』データを通して再度確認させることとなる。それとともに、『写真石版附音挿図英和字彙』以上に『華英字典』という中国辞書系訓訳辞書資料と『哲学字彙』系辞書との距離が大きいこと、また前代的性格を遺す『華英字典』と後代の集成的対訳辞書『漢英対照いろは辞典』・『漢語英訳辞典』との懸隔もまた、ここでお浮き彫りとなった。

そしてこうした語彙資料として性格の異なる系統の諸対訳辞書が第二次英学書ブーム期には入り乱れて刊行されていたという点が、見逃せない当代の共時的な状況なのである。これら諸種レベルの語彙体系を有する刊行物メディアが共存する中で、前代的なものも健在のまま互いに張り合った関係を維持しながら、近代の日本語語彙が淘汰生成を繰り返していたということ、そのことを踏まえ単に各資料の語の新旧消長を計測するだけではいけないということなのである。

## おわりに

坂本（2008）においては、第一次英学書ブーム期の代表的英和辞書『附音挿図英和字彙』第1版の復刻書として第二次英学書ブーム期に刊行された『写真石版附音挿図英和字彙』と、第二次英学書ブーム期に成立刊行の『英語節用集』との間でその語彙資料としての性格を検証した。

本稿においては、第一次英学書ブーム期よりも旧く中国において成立した対訳辞書を淵源として第二次英学書ブーム期に刊行したという永峰秀樹訓訳『華英字典』を取りあげ、またやや後代の集大成的な『漢英対照いろは辞典』・『漢語英訳辞典』をも交えることで、前稿と絡めながら『英語節用集』を中核として各辞書間の言語資料としての性格差の一端を明らかにしようとした。

その結果、各資料の相違するありさまをデータを示し描出することで、第二次英学書ブーム期においてさまざまな性格をもった訳語語彙が共時的状況において供給され混在していたということに関して、今後さらに追究して行

くべき意義を示し得たように思う。

今後とも、当期の語彙資料のデータ集積とその分析を継続して行いたい。

### 〈注〉

- 1 屋名池（1991）参照。
- 2 『英語節用集』の書誌・概要説明については、原口（1991）他を参照。  
『英語節用集』の底本として、本稿においては大阪府立大学（旧大阪女子大学）蔵本を使用した。辞書本体部は、次のように全8部合計914項目で構成される。  
宗教及哲学論派名称：135項目      学術名称：61項目  
宗教家応用語：284項目      人品及官位：160項目  
政治及法制：123項目      政治家応用語：93項目  
堂屋及処名：40項目      年代及歴史：18項目  
上記8部の他に、付録相当の「各国政体及宗教」が末尾に添付される。本稿中では各部を「宗哲」「學術」「宗応」「人官」「政法」「政応」「堂処」「年歴」と略称する。
- 3 『日本語学研究事典』（2007 明治書院）「英華・華英事典」項解説（飛田良文氏執筆）
- 4 豊田（1963）また『日本語学研究事典』（2007 明治書院）「英華・華英事典」項解説（飛田良文氏執筆）参照。なお、本稿中に引用する資料の字句については、漢字字体や合字等を論に差し支えない限り適宜現行のものに改めて示すこととし、文書作成ソフトで変換表示できなかった漢字については【 】中に文字の構成要素を組み合わせて示すこととする。
- 5 森岡健二（1969）他参照。
- 6 坂本（2006b・2007）参照。調査に使用したものは、『漢英対照いろは辞典』が『明治期国語辞書大系〔普2〕漢英対照いろは辞典』（1997 大空社 飛田良文ほか編）、『漢語英訳辞典』は九州大学蔵本である。
- 7 『英語節用集』においては、「仏教 Buddhism ブディズム」のように、日本語訳語・英字綴り・英語音形カタカナ表記の形式を採っており、日本語訳語は一語（句）を掲出する体裁となっている。
- 8 永峰秀樹訓訳『華英字典』において片仮名表示を掲出する際に、漢字表示を伴った片仮名表示で漢字表記語を示す場合と、漢字表示を伴わずに片仮名表示のみで漢字表記語形を示す場合とがある。なおさらに、前者においては大本で利用した中国辞書にもともと当該漢字表記語が存在するものと、中国辞書になかったものを漢字表示とともに片仮名表示を添えて永峰が新たに増補したものとが混在すると想定されるため、当然それらの子細な検討分析までもが要請される場所である。しかしながら、今次調査ではその詳細な検討にまでは調査が及ばず、ひとまず当該漢字表記語の「語形」掲出がなされたものと解して、併せて○型として処理している。この点は今後の検討課題として持ち越し、継続調査における分析に委ねることとしたい。
- 9 『華英字典』の辞書本体部分が293頁分で親見出し項目数で概ね1万4千超ほどである

- が、『漢英対照いろは辞典』は辞書本体通算1185頁分項目数約5万8000超、『漢語英訳辞典』は全3巻の辞書本体通算1125頁分項目数約2万8500にのぼるものである。
- 10 『日本語学研究事典』(2007 明治書院)「英華・華英事典」項 (飛田良文氏執筆) 参照。
  - 11 坂本(2006a)等も含め、稿者の一連の調査研究は当代対訳辞書資料の訳語データベース構築を試行的に目指したものである。
  - 12 「/」後の英語語形は『英語節用集』の当該項目の英語見出しであるが、英語表示後に①、②と付すものは、同書中において重複立項されている英語見出し項目であることを示し、その出現順に従って①、②と示した。なお、「\*」符号を付したものはスペル等に関する編集ミスと見られる原態の綴りであり、矢印の前に訂正綴り形を稿者が仮に示しておいた。以下同様。
  - 13 『華英字典』中の片仮名訓訳は小字二行割付の形式で付されているが、本稿中では大字一行表示に改めて引用している。
  - 14 Edition 項については、『華英字典』で「Edition 刻シユツパン」と項末片仮名訓「シユツパン」のみで掲出される。あるいは現行通用の「出版」表記が訓訳者の念頭にあったとも想定し得るが「出版」の可能性も否定し切れない。または、漢字表記を行わず仮名のみを記すことであえて漢字表記の決定をしない言語観、立場を採っているとも考え得る。ひとまずここは、当型群に入れて処理しておく。
  - 15 I → 『和英語林集成』初版(1867年刊)、II → 同第二版(1872年刊)、III → 同第三版(1886年刊)。「[ ]」内は順にI・II・III各版において、当該英語見出し項目なし\*、当該訳語あり○、当該訳語なしー。Uncle 項においては『和英語林集成』英和の部I・II・III各版ともに「Oji Oji-san」であるが、漢字表記語「叔父」として○と判断し処理した。
  - 16 坂本(2004)中で、『和英語林集成』英和の部調査を行い、『哲学字彙』系である『英語節用集』項目の第三版における増補項目例について示している。

## 〈引用・参考文献〉

- 坂本浩一(2000): 明治期対訳辞書と漢語辞書をめぐる一考察 —『漢語英訳辞典』を中心に— (『香椎潟』46号)
- 坂本浩一(2004): 明治期対訳辞書『英語節用集』所載英語見出し語項目の『和英語林集成』英和の部立項状況をめぐって (『香椎潟』50号)
- 坂本浩一(2006a): 『英語節用集』をめぐって — 周辺主要辞書との所収部別対照調査報告 — (国語語彙史研究会編 和泉書院刊『国語語彙史の研究 二十五』所収)
- 坂本浩一(2006b): 明治期日欧言語交流史の一研究 —『英語節用集』所収二字漢字表記語の『漢英対照いろは辞典』および『漢語英訳辞典』における収載状況をめぐって— (『香椎潟』52号)
- 坂本浩一(2007): 明治期日欧言語交流史の一研究 —『英語節用集』所収二字漢字表記語の『漢語英訳辞典』における収載状況をめぐって— (『文藝と思想』71号)

坂本浩一（2008）：明治期日欧言語交流史の一研究——『英語節用集』所収二字漢字表記語の『写真石版附音挿図英和字彙』における収載状況をめぐって——（『文藝と思想』72号）

豊田 実（1963）：『日本英学史の研究』新訂初版 千城書房

原口 裕（1991）：大阪女子大学附属図書館編『大阪女子大学蔵蘭学英语資料選』第2章「単語集・会話集」

森岡健二（1969）：『近代語の成立 明治期語彙編』明治書院

屋名池誠（1991）：大阪女子大学附属図書館編『大阪女子大学蔵蘭学英语資料選』第1章「綴字書・運筆書・横文字紹介書」